

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 22 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 3 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 23 年 1 月 11 日（火） 13:30 ～ 15:20
- 2 場 所 県庁 6 階 大会議室
- 3 出席委員 荒井委員、川崎委員、下中委員、藤井委員（五十音順） ※葉袋委員は欠席

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 22 年 7 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明
 - ・低入札価格調査の状況について説明

Q 総合評価落札方式を実施して価格 1 位の者が落札できなかった場合、当該業者から落札できなかった理由の問い合わせ等はないか。

A 現在まで問い合わせはない。

Q 工事続行不能の申し出があり、契約解除とした場合、当該工事はどのようになるのか。

A 残工事部分について、再度発注することとなる。

Q 低入札調査の対象とした工事について、工事成績との相関関係はどうなっているか分析してほしい。

A 調査の上報告する。

(2) 抽出事案審議（事前に藤井委員が抽出）

ア サンドーム福井空調設備改修工事

Q 総合評価落札方式の項目として、地域精通度は業種にかかわらず評価するのか。

A 工事の業種を問わずに評価している。

- Q 事案は、空調設備改修工事であるが、工事発注の工種は管工事でよいか。
A 冷温水を配管により各室に送って空調を行う改修工事であることから管工事が適当である。

イ 道路防災対策工事（社会資本整備総合交付金）一般国道305号

- Q 入札公告の入札参加資格で機械の保有を条件としているが、総合評価落札方式の項目においても機械の保有を評価している。違いは何か。
A 総合評価落札方式においては、自社で機械を保有していることを評価している。

ウ 交通安全施設等整備工事（社会資本整備総合交付金）和久里その1

- Q 応札業者に失格者が多い理由は何か。
A 最低制限価格を下回る入札をした者が多かった。

エ 福井港港湾整備事業（社会資本整備総合交付金）（港湾改修）その3工事
特になし。

オ 平成22年度かんがい排水事業（一般型・県営）西江・中江1期地区第4号工事

- Q 低入札価格調査において、失格判断基準の一つでも抵触すると失格となるか。
A 失格となる。

(3) その他

- ・事務局より、厳しい経済情勢にかんがみ、12月補正予算など経済対策に係る公共工事の発注に当たっては、迅速に執行し、かつ、効果を早期に発注させるため、以下の取り組みを行うことを報告。

① 指名競争入札の弾力的な活用

- ア 対象工事 緊急に施工することが求められている公共土木施設の維持修繕または災害復旧の工事など。原則1000万円以下の工事。
(総合評価落札方式の対象工事を除く)

- イ 実施期間 平成22年12月補正予算成立後～平成23年3月

② 工事発注に当たっての配慮の徹底

- ア 分離・分割発注による地元発注の促進
イ 県産品の活用
ウ 工事代金等の早期支払い